

令和 7 年 度

要 望 書

提 出 日 : 令 和 7 年 1 0 月 7 日

苫 小 牧 市 老 人 ク ラ ブ 連 合 会

要 望 事 項

令和7年度苫小牧市老人クラブ連合会の要望は、下記の3項目でございます。

記

1. 高齢者福祉の充実について
2. 認知症対策について
3. これからのバス交通について

要望事項の内容につきましては、次頁から項目ごとに記載しております。

1. 高齢者福祉の充実について

苫小牧市においては高齢者人口が年々増加しており、地域でのつながりを持ち、生きがいを感じながら日常生活を送るためには、高齢者福祉施策の一層の充実が極めて重要です。

苫小牧市老人クラブ連合会では、「高齢者を一人にさせない」「家に籠らせない」の観点から、各単位クラブにおいて「老人クラブだより（会報・行事案内）」の発行や、例会でのレクリエーション、声掛け、安否確認などを通じて相互の働きかけを行っています。

高齢者が住み慣れた地域で互いに支え合えるよう、地域コミュニティ活動の一層の充実に向けた施策を下記のとおり要望いたします。

記

（1）高齢者食堂・シニア食堂（仮）の実施

単身高齢者の増加に伴い、一人で食事をする方が多くなっています。仲間同士が共に食事をする場の設置は重要ですが、単位クラブのみでの実施は財政的に困難です。つきましては、「子ども食堂」の事例にならい、助成金の交付や制度的な支援を要望いたします。

（2）草刈り（除草）の支援について

現在、苫小牧市では85歳以上の単身高齢者世帯等を対象に「ふれあい収集」が実施されています。これと同様に、高齢者にとっては自宅の草刈り（除草）も生活上の大きな課題であることから、新たな支援施策の導入を要望いたします。

（3）高齢者の健康づくりについて

苫小牧市では、年々高齢者人口は増加しており、できるだけ在宅生活を続けられるように各単位クラブにおいて「健康づくり」についての取り組みを行っています。こうした取組をより一層促進するための施策を要望いたします。

2. 認知症対策について

高齢者の5人に1人が認知症になると言われる「2025年問題」を迎え、苫小牧市老人クラブ連合会の会員においても関心が高まっています。認知症に関する新薬、皮下注射の登場など、早期発見での「予防」にこれまで以上に期待が高まっています。一方で、多くの高齢者が「自分は大丈夫」との思いから「受診」に至らないなど課題があります。こうした背景から下記のとおり要望いたします。

記

(1) 認知症に対する市民理解の取り組みの強化について

多くの高齢者は「自分は大丈夫」という思いや認知症への不安、偏見があります。そのため、受診につながらない事例が見受けられ、認知症に対する正しい理解を広めるため、市民啓発の取組強化を要望いたします。

(2) 予防検査の費用助成について

認知症の予防検査が1回あたり1万円以上と高額なため、検査受診に至らないことが多くなっています。予防検査費用に対する助成等、負担軽減策を要望いたします。

3. これからのバス交通について

これまでも市内バス路線の運行維持について要望してまいりましたが、昨年度の路線再編により、結果として減便が行われました。その影響により、多くの高齢者が通院や買い物に不便を強いられております。

今後、抜本的な対策を講じなければ、高齢者の生活に一層深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。公共交通の重要性に鑑み、下記のとおり要望いたします。

記

現在のバス路線を維持していただくためにも運転手確保のための支援、乗客が少ない路線について赤字分を補填するなど利用者の利便性を損なうことのない運行が継続できるための市の施策を要望いたします。